

# ChatGPT を社内で活用する ためにやったこと(仮)

---

株式会社ビヨンド 萬代陽一

2023/06/14 ビヨンド勉強会



# 自己紹介

---

萬代陽一

株式会社ビヨンド システム開発部所属

ChatGPT 歴 : 約半年

Twitter 始めました → @chaotic\_pg

## ここから話すお話は...

まだまだ道半ばで完結していません

社内活用を考えてるけど、どこから手を付けていいか分からない

本当に大丈夫なのか？

不安な部分が少しでも解消できれば幸いです！

# ChatGPT 始めました

業務がむちゃくちゃ忙しかった今年の1月 ~ 3月頃

管理画面のデザインを Tailwind を使ってやらないといけなかった僕は

生粋の Bootstrap 使いでした

正直絶望

今から Tailwind を覚えるには気力が足りない...

なんかいい方法はないものか？

# ChatGPT 始めました

ChatGPT があるじゃない！

「Tailwind CSS を使ったカッコいいテーブルのレイアウトをください」

待ってるだけでできた

# ChatGPT 始めました

サンプルの HTML をそのまま貼り付けると

特にレイアウト崩れもなくテーブルが表示される

コイツは間に合うぞ！（確信）

他のページも一気にレイアウトの調整をやってしまい、無事納品

.....今思うと、さしてカッコよくはなかった気がしないでもない

# ChatGPT 始めました

モデルのリレーション設定めんどくせーのでコードちょうだい

この謎の文章3行にまとめて

英語の問い合わせメールつくってくれー

全部やってくれる

## 社内でも利用者が増え始める

そんな感じで考えるのが面倒なことは ChatGPT にポイポイ投げるようになる

人間、墮落するときは一瞬です

そんな中、社内の勉強会で ChatGPT を話題にする人も出てき始めます



# 社長の目に留まる

急に社長が ChatGPT 言い出す

ChatGPT を使えと檄を飛ばす社長

道具をどう使えば良いのか戸惑う社員

こんな感じのイメージで私は見ていました

# ChatGPT 利用推進チームの発足

社内の会議で ChatGPT に関する議題を出しました

社長の檄が効いたのか、社内でも普段使いする人も増えました

業務効率が上がったならいいですが銀の弾丸でもない

いつか事故が起きそうな気もするな、という嫌な予感がありました

# ChatGPT 利用推進チームの発足

事故らずに ChatGPT のおいしい部分だけを享受して  
業務効率を上げてハッピーになる

これを個人の裁量に任せて全員がうまくいく

そんなうまい話があるわけない

# ChatGPT 利用推進チームの発足

そんなこんなで ChatGPT 利用推進チームというものを作ることになりました

言い出しっぺなので自分はもちろんですが

ある程度技術に明るい人を揃えて楽したい、ということで

名前を挙げていくと各部署の長と付く人ばかりが揃ってしまいました

何も成果がないと苦しい状況になってしまったw

# ChatGPT 利用推進チームの発足

ChatGPT 利用推進チームを立ち上げるにあたって

まず最初に考えたのは、これをいつやめるかということです

始める前からやめることを考えるのは良くないかも知れないですが

ここでいう「やめる」はゴールをどこに設定するかということです

# ゴールがなければ走れない

まずはみんなが利用するツールの選定

ツールは ChatGPT ですが、このまま使うにはリスクがあります

業務にとって無害な状態で利用できる方法を提示する必要があります

# ゴールがなければ走れない

次にリテラシーの向上

生成 AI との付き合い方を知ってもらう必要があります

# ゴールがなければ走れない

最後に使い方

どんな道具も使い方を知らなければ便利にはなりません



# 利用しやすい環境を整える **BetterChatGPT**

これは岩崎さんに教えてもらった ChatGPT クローンツール

といってもフロントだけのクローンで実際の処理は API を通じて ChatGPT が行うので精度は変わりません

API を経由したメッセージは RLHF の対象にならないのが良い

# 利用しやすい環境を整える **BetterChatGPT**

とりあえず使ってみるには <https://bettergpt.chat/>

リポジトリをフォークして github.io にデプロイすることもできます

使用感としては、ほとんど違和感がないレベル

+α の機能が色々ついているので便利に使いそうということで採用

API キーは退職者が出たら廃棄するつもりでみんなに配布しました

# ガイドラインの策定

安心して使える利用環境ともう一つ大事だなと思ったのがガイドライン

ルールというよりは、こういう風な考え方で使っていかうって感じをイメージ

特に権利に抵触する可能性と情報漏洩が発生する可能性はつきまとうので重点的に要点を整理する

というものを現在作成中です

# ガイドラインの策定

1から考えるのは大変なので JDLA（日本ディープラーニング協会）という団体が配布している生成AIの利用ガイドラインをひな形として利用

<https://www.jdla.org/document/#ai-guideline>

これをベースに自社の方針や他社のガイドライン（クラスメソッドさんなど）を参考に文言を調整

# 使い方の共有

最後は使い方の共有です

便利なプロンプトやツールなんかの情報に目を向けつつ

業務で利用できそうなものは社内に展開していく、という感じです

ほとんど手がつけられていない分野です

# 使い方の共有

その他の生成 AI の検証もやりましたが、情報の扱いの問題から利用を断念

- Bard
- Bing Chat
- Amazon CodeWhisperer
- Windows copilot (Insider Preview のリリース待ち)

など

日本語に特化した GPT 言語モデルの検証もやってみたい

# その他の生成 **AI** 利用 **Github Copilot**

システム開発部では Github Copilot を利用しています。

コメントを書くと、コメントに合うコードがドンツ！と出力される

コメントを充実させるとコードの精度も上がるので

結果としてコメントがしっかりあって読みやすいコードが素早く書ける

月19ドルは高い！が見合った成果は出せる

## その他の生成 **AI** 利用 **Github Copilot**

- 生成されたコードの良し悪しを正しく判断しないままプルリクエストするとレビューアの工数だけが増える
- copilot なしで実装できなくなりそう

という理由から、新卒や業務歴の浅いメンバーには利用許可を出していません



## その他の生成 AI 利用 **DALL-E 2**

OpenAI は画像生成 AI もリリースしているので利用できるようにしました

BetterChatGPT のように API を利用する形のフロントエンドツールを Github で探して、少し改修しています

<https://beyond-development.github.io/image-generator-using-openai-api/>

日本語だとまるでダメなので英語のプロンプト必須なのがツライところ

## まとめ

ビヨンドでは生成 AI を取り入れた生産性の高い業務を目指しています

問題が起きて利用に歯止めが掛かるのを防ぐため

ChatGPT 推進チームが主体になって

環境作り、リテラシーの底上げ、利活用の推進を行っていきます



サーバのことは  
全部  
丸投げ 

ご清聴ありがとうございました！



API  
開発も  
やってます 

